

四季防災館リニューアル補足資料



令和7年12月25日（木）

ガイダンスコーナー

※関西大学 城下教授に監修を依頼

- ・体験に先立って、ガイダンス映像を視聴いただき、体験の心構えと目的意識を持ってスタートすることで、防災の大切さの実感につなげる
- ・解説は2方向から読めるようにレイアウト



コンテンツ展開 (約4分の映像)

①富山県の風景と暮らしのイメージの移り変わり
(平穏な富山の元旦の風景)



②能登半島地震の発生
(津波、家屋の倒壊、液状化など被害の発生)



③時計の針が巻き戻る→富山県の災害の歴史
(H16台風23号、H20寄り回り波、集中豪雨、大雪)



④富山県でも大災害はいつ起きてもおかしくない
今、災害が起きたら・・・
(台風の目、豪雨、氾濫する河川、土砂崩れ、大雪、活断層など)



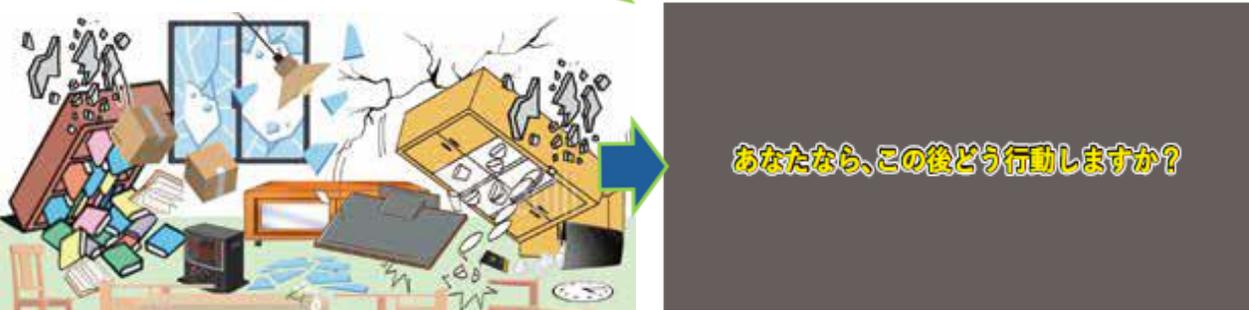
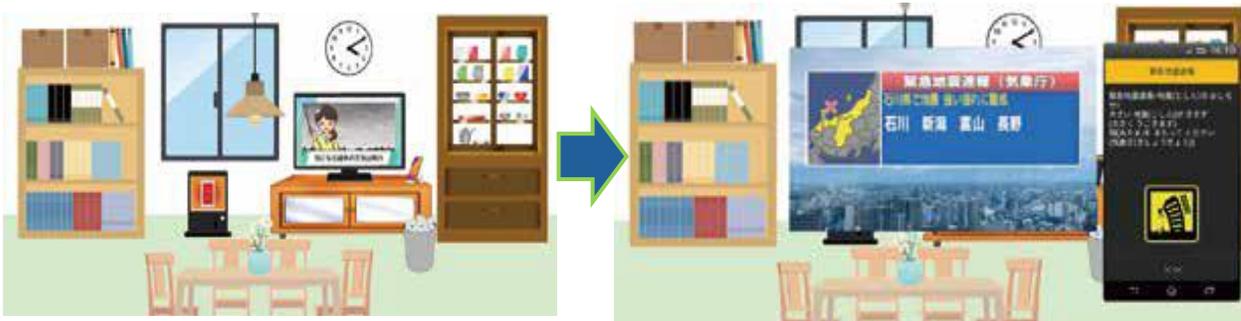
⑤解説員による解説と誘導

「災害に備えるため何をすればよいか」

地震体験コーナー



令和6年能登半島地震の揺れ(約2分)に連動する映像を投影して体験効果を高める。



※映像はイメージ



- 1 地震が来たら
 - 屋内にいるとき (頭を守るなど)
 - 屋外にいるとき (建物から離れるなど)
 - 2 揺れがおさまったら
 - 火の始末 (火の始末、初期消火)
 - 安全の確保 (自らの安全の確保、応急手当)
 - 3 落ち着いてきたら
 - 情報収集 (安否確認 (災害伝言ダイヤルなど))
 - 4 身に危険の恐れがある場合は
 - 避難が必要な場合とは
 - 避難する場合の行動
- ※展示する被害写真等は、なるべく県内のものを使用

シアター(VR)

※関西大学 城下教授に監修を依頼



01

地震後の津波からの避難 (2分40秒)

【コンテンツ展開】

- ・日中、富山湾海岸沿い
- ・地震発生



02

- ・海岸沿いから移動
海から離れる
(徒歩避難)



03

- ・緊急地震速報
- ・津波警報発令



04

- ・学校のグラウンドへ避難する

- ・屋上へ避難する



05

- ・注意喚起

※映像はイメージ



01

豪雨による浸水に見舞われ垂直避難 (2分40秒)

【コンテンツ展開】

- ・**夕方**:住宅内リビング
- ・線状降水帯が発生し、大雨警報が出ている。



02

- ・「記録的短時間大雨情報」がでる
- ・「避難指示」がでる



03

- ・避難しようとするが、道路に**用水の水があふれて進めなくなり、自宅に戻る**



04

- ・停電、玄関から浸水



05

- ・2階に避難する

- ・注意喚起

津波・液状化・避難所・情報コーナー

- ・シームレス防災マップ
- ・重ねるハザードマップ
- ・液状化しやすさマップにアクセス

1 避難所の選択肢

- 避難所、緊急避難所、福祉避難所の説明
- 二次避難、在宅避難の説明

2 避難所の運営

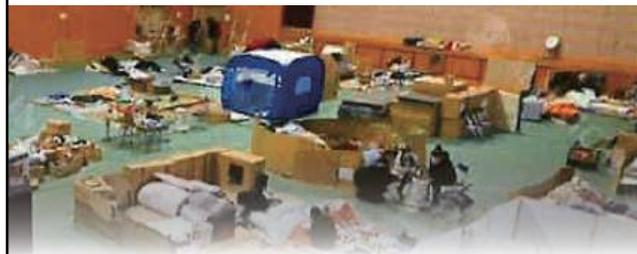
- 避難所の運営と共助
- TKBSの重要性
- 多様な被災者ニーズの配慮

3 避難所と災害関連死

- 能登半島地震における災害関連死
- 災害関連死を防ぐために

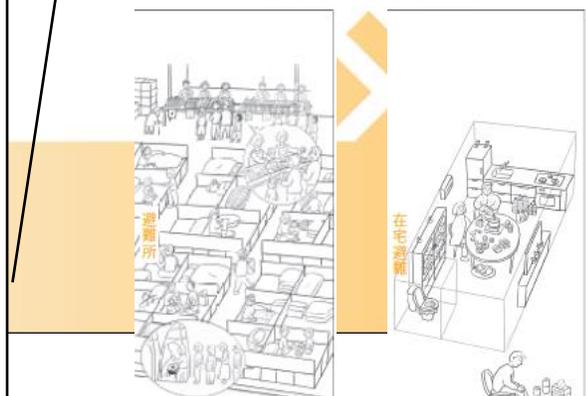
4 在宅避難

- 在宅避難の条件
- 在宅避難で必須の装備品
- 在宅避難可能な家づくり



でしょうか

<h3>3 避難所と災害関連死</h3> <p>能登半島地震における災害関連死 公平な避難所での災害関連死が 大きな課題となっています。</p> <p>災害関連死を防ぐために 仮設避難所の生活環境を整えることが 重要です。</p>	<h3>4 在宅避難</h3> <p>災害時でも自宅で生活が続けられれば 多くのメリットが得られます。</p> <p>在宅避難の条件</p> <p>在宅避難で必須の備品</p> <p>在宅避難可能な家づくり</p>
---	---



【避難所】 【在宅避難】
に必要なものを実物やイラストで紹介

- 1 液状化現象とは
 - メカニズム
 - 起きやすい場所
- 2 能登半島地震
富山県での液状化被害
 - 発生地域
 - 被害状況

- ### 能登半島地震の津波
- メカニズム
 - 伝播速度と高さ
 - 被害状況

(屏前面) (めくる) (屏裏面)

海岸近くの津波のスピードはどれくらい？

300mm

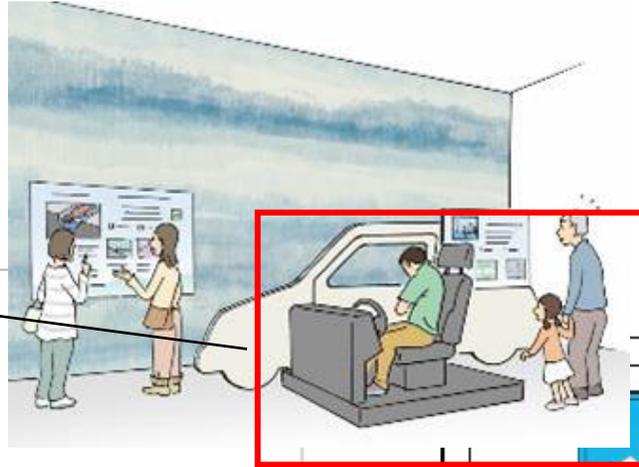
(壁面)

オリンピックの短距離選手ぐらいのスピードなので、とても逃げ切れません！

水害コーナー

冬の災害コーナー

- ・スイッチは解説員が操作
- ・水位設定は
30cm…車が停止
50cm…歩行避難が困難
90cm…車の窓に到達



富山県で警戒すべき風水害

農業用水路転落事故

地形の特徴
富山平野は奥越山脈がふたつとつたところ、かつては河川が網を張り巡らしていました。...

風水害に備える
大雨や台風が来たらどう避難するか、あらかじめ考えておきましょう。

用水路事故が多い富山県
特に高齢者や子どもの事故が多くなっています

転落事故を防ぐために
地域もあわせて対策に取り組みましょう

※30程度の危険な要素を紹介

18

雪道でのスタック



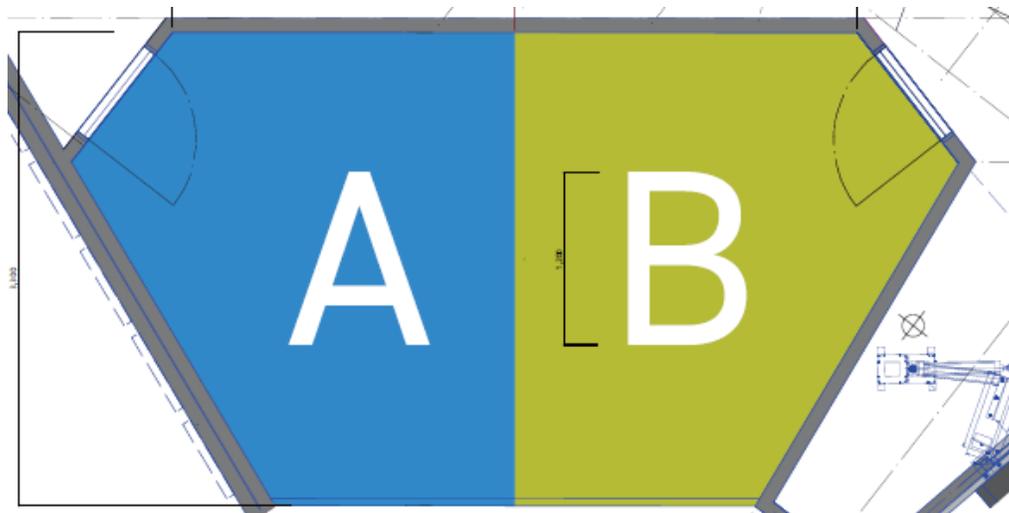
※この他に富山の雪の特徴や昭和、平成、令和の豪雪のパネルを展示

- 1 警戒すべき風水害
 - 富山県の地形の特徴
 - 風水害に備える
 - ・高齢者避難など警戒レベルの解説
 - ・マイタイムライン作成啓発
- 2 農業用水路転落事故
 - 転落事故が多い富山県
 - 転落事故を防ぐために

クイズコーナー

子どもたちが楽しめる仕掛け

質問	選択肢A	選択肢B
いざというときに備えて備蓄品を買っておこう。何日分用意しておけばいいんだろう。買いすぎてももったいないよなあ。	もったいないから、1日分あればいいか。救援物資も届くだろうし。	ニュースで断水する話もよく聞かしくし、念のため一週間分買っておこう。
		答えはB



※色覚障がいのある方にも配慮した色使い

防災スタンプラリー

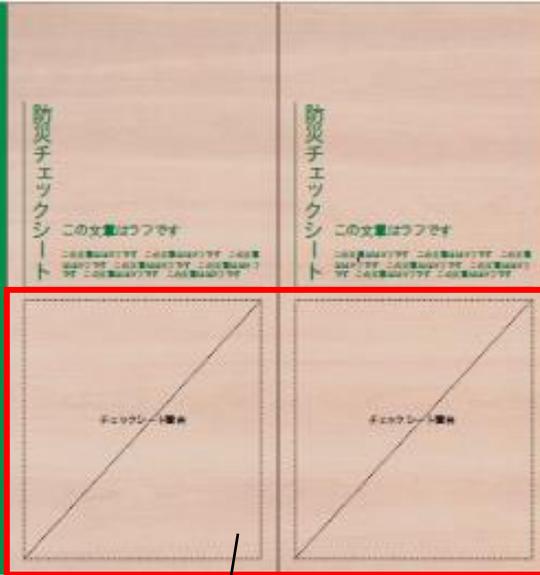
- ・スタンプシート ×1
A5 版下のみ作成



- ・マスター証 ×1
カードサイズ 版下のみ作成



災害に備えるコーナー



- 1 住宅耐震化
 - 富山県の支援事業の紹介
- 2 家具の転倒防止
 - イラストと実物展示
- 3 非常持ち出し品
 - 非常持ち出し袋を備えよう
 - 非常持ち出し袋の保管場所
 - 実物品の展示
- 4 備蓄品
 - 備蓄しておきたい日用品をイラストで紹介
 - 高齢者等に配慮した備蓄品
 - 乳幼児、女性、ペットがいる方などに配慮した備蓄品

- 1 3日間の備蓄品の総量
 - 4人家族が3日間暮らすために必要な食料・水・燃料を実物大のイラストとして表現する。
 - 物資の量が分かるよう、水であれば2Lのペットボトルを24本並べて表現
- 2 ローリングストックのすすめ

防災チェックシート(詳細検討中)
 ■自分に必要な備えを見つけるシートを配布、学びを家や学校に持ち帰る。

